

マンホールふたのストックマネジメント

株式会社 東海建設コンサルタント

〒410-0811 静岡県沼津市中瀬町 5-1

営業部：TEL055-931-0625 FAX055-932-7170

水工事業部：TEL055-931-7630 FAX055-935-5181

下水道管渠およびマンホールの標準耐用年数は50年であるが、マンホールふたの標準耐用年数は15年と、両者の標準耐用年数の周期が異なるため、管渠とマンホールを対象とした「管路施設のストックマネジメント」は、マンホールふたのストックマネジメントには適用できないのが実状であります。

また、「平成27.11.19 下水道の改正」により、維持修繕基準が創設されるとともに、事業計画の記載事項として、点検の方法・頻度が追加され、マンホールふたストックマネジメントが不可欠となりました。

マンホールふたのストックマネジメント策定と、マンホールふたのストックマネジメントの策定フローは次のとおりです。

マンホールふたストックマネジメントの策定

- 基礎調査（資料収集・整理、現地踏査）
- 施設状態の把握（健全予測式等での検討、必要対策量の把握）
- 投資計画の策定（最適シナリオの選定、管理目標値の設定）
- 調査計画の策定（優先順位、実施時期、調査ブロック設定）
- 調査計画のとりまとめ



マンホールふたのストックマネジメント（全体計画に基づいた施設管理）

- 目視調査
- 健全度評価
- 必要費用の算定
- 年度別事業計画の策定
- ストックマネジメントの策定（事業の平準化）
- ストックマネジメントの実施

マンホールふたストックマネジメント全体計画の策定（イメージ図）



項目分類	箇所・地区	計画年度	数量	高橋＝調査年度																							
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
点	(1)箇所	○年	○箇所																								
	(2)地区	△年	△箇所																								
	(3)地区	□年	□箇所																								
線	A幹線	○～○年	優先度Ⅰ：○箇所																								
	B幹線	△～○年	優先度Ⅱ：△箇所																								
	C幹線	□～○年	優先度Ⅲ：□箇所																								
	D防災拠点系統	○～○年	優先度Ⅳ：○箇所																								
	Eバス通り	○～○年	優先度Ⅴ：○箇所																								
面	①地区	○～○年	優先度Ⅰ：○箇所																								
	②地区	△～○年	優先度Ⅱ：△箇所																								
	③地区	□～○年	優先度Ⅲ：□箇所																								
	④地区	○～○年	優先度Ⅳ：○箇所																								
	⑤地区	●～●年	優先度Ⅴ：●箇所																								
	⑥地区	▲～▲年	優先度Ⅵ：▲箇所																								
	⑦地区	■～■年	優先度Ⅶ：■箇所																								

関連する主な業務実績

業務名	発注者
広見地区長寿命化計画	富士市
東部処理区长寿命化計画	富士市
富士市改築事業計画策定	富士市
伊東市管路施設改築診断	伊東市
ストックマネジメント計画策定	静岡県
富士市改築事業計画策定その2	富士市
岳南排水路管路施設調査・診断	岳南排水路管理組合